



熊谷東ロータリークラブ会報

クラブテーマ

「Enjoy Rotary!」



ロータリー：
変化をもたらす

NO.

18

2017.12.6発行

会長：小川 智 副会長：宮川 進 会報情報委員長：武藤 正
幹事：高橋 勤二 会長エレクト：市川 富夫

国際ロータリー会長：イアン H.S ライズリー
第2570地区ガバナー：細井 保雄

〒360-0024 熊谷市問屋町2-4-1 熊谷流通センター会館
TEL.048-525-3025 FAX.048-525-7011
office@kumagaya-east-rc.com
例会日：水曜日12時30分/月末は夕刻例会 18時30分

通算 1928回 例会

平成29年11月15日

◎司会：石井 典男副 SAA ◎点鐘：小川 智会長

会長の時間

小川 智 会長



「ポール・ハリスの生い立ち「種は蒔かれた」

最終回

5年間の大冒険で、様々な職につき、様々な人と出会い、様々な経験を積んだポールは、ついに人生出発の地「シカゴ」へ向かったのであった。

その5年で、学んだものは……

・5年の放浪生活で、ポールは空腹や寒さや孤独を身をもって味わった。自分の能力だけに頼って生き延びる事を学んだ。生活していくために、ユーモアのセンスと知力と素手を使わなければならなかった。赤の他人から並み並みならぬ親切を受けることもあれば、勝つために人が騙したり盗んだりするのも見てきた。悪も多かったが、善も見つけた。人生とは自分が注いだだけのものを得るものだとして学んだ。こうして彼は、世界とは多文化の地であり、より深い理解が必要な場であり、孤立主義の視点で見るべき処ではないと考えるようになった。

・ポールは、レーク通りとディアボン通りの角あたりに小さな事務所をかりて、イリノイ州の弁護士事務所を開業する許可を取得した。しかし、ほどなく弁護士であることと弁護士で身を立てることは必ずしも同じでないことを悟る。

・小さな看板を出した。多くの客が押し寄せるとは期待していなかったものの、完全に無視されたのである。

・建築ブームの過ぎたシカゴの景気は後退していた。辺境の地の精神は今だ健在で、「弱肉強食」、「買者の危険負担」それが町のルールであった。消費者保護の規制は皆無に近く、ポールは詐欺や倒産や横領の犠牲者を代弁することによって、地道に事業を築いていった。

・仕事では順調に成功していたが、個人的な友人を多く見つけるには大都市シカゴは不毛の地であった。ポールは人々が我欲や利己心や競争の虜になっている様子を目のあたりにした。孤立感は強まるばかりで、実に寂しく、冷たい大都市の真ん中に落とされた田舎者のように感じていた。

・日曜には、ポールは教会に行った。特に1つの信仰あるいは教派に属していたわけではなかったもので、どこの教会にも出かけて行った。ある週は長老派の教会の礼拝に出席し、次の週はユダヤ教の会堂、その次はイスラム教のモスクといった具合である。

・孤独なポール！ポールはよく公園で散歩したり、田舎で長距離を歩いたりした後、夜遅く寂しい借家に帰った。数年後、この頃の事を「私はとにかく寂しかった。もっと多くの、農

場や田舎からシカゴに上京した青年と知り合いになれないものか考えた。そう言う青年なら親しく気さくな付き合いの喜びを知っている……ああ、私のニュー・イングランド・バレーの緑の草原、そして温和な昔なじみの声をどれほど恋しく思ったことか。」ポールには知人はいても、真の友人はいなかった。事務所の壁には、彼の好きなラルフ・ウォルド・エマーソンの詩が額にかけてあったが、置かれた状況がこの言葉を余計辛らつなもにしていた。「千人もの友人を持つ人といえども、一人として失っていいと思われる友はいないのだ。」

「私には千人の友どころか、一人の友もない」と悲しげに彼は認めたのであった。

孤独な寂しい気持ちはいつまでも続くわけではなかった……。

・ポール・ハリスの人生で、種の蒔かれる瞬間が訪れた。1900年のある秋の事だった。弁護士仲間のボブ・フランクがシカゴ中心街から北のロジャーズ・パーク地区にある自宅での夕食にポールを招いたのである。食事の後、フランクは近所を散歩しようとする誘い、2人はぶらぶら歩いていくつかの店に足を踏み入れた。シカゴの中心街で見慣れた店員の無礼で無関心な態度とは違い、この辺りの店主はフランクを笑顔と握手で迎えた。沢山の店で、店の人とボブ・フランクは互いにファーストネームで呼び合って挨拶を交わしていた。心から信頼しあう親しい関係にあるからこそ、互いに取引をしていることが明らかに見て取れた。

・この何ということはない午後の散歩のことが、その後5年間何度もポールの頭に蘇った。よそ者同士が商売でも友情でも1つになれる憩いの場、ウォーリングフォードとシカゴの接点を遂に見出したのだ。

一粒の種が、ポールハリスの肥沃な心に蒔かれたのであった！

〈本日 12/6 のプログラム〉

理事会報告 / 会員卓話 / 誕生祝い

幹事報告

高橋 勤二 幹事



- ・ハイライトよねやま 212号
- ・高城神社より西の市祭典の案内
12.8 (金) 10:00 ~ 高城神社 拝殿にて

例会日	出席	欠席	MU	出席率
11.15	19	10	1	70%

ニコニコ BOX

佐藤 良孝 委員長



小川会長・宮川副会長・高橋幹事

本日は、大沢会員 インニエーションスピーチよろしくおねがいします。

高橋勤二幹事

妻の誕生日祝い、ありがとうございます。

清水利夫会員

質問箱での疑問の対する回答内容はいかがでしょうか。

今後ともご質問をどしどしお願いします。

浅井純次会員

清水正 SAA の質問コーナー楽しみにしていました。宜しくお願ひいたします。

大沢会員、インニエーションスピーチよろしくお願ひします。

り、旅行が大好き!という思いでは無く、たまたまの入社でしたが、実はそれが今まで続いている要因だと思います。周囲を見ても、あいつらはすぐに辞めるだろうと入社後の集合研修で言われていた3人組の見事に私はその一人でしたが、3人も現在は課長・マネージャー職を拝命しております。

自分の理想が強すぎる人は、現実と理想のギャップに悩み、旅行は仕事では無く趣味で楽しむものだという事に気づき去っていくことが多かったように見受けられます。

よく添乗でのトラブル・失敗談を聞かれるのですが、残念ながら?常にほとんど順調にいており、ご紹介するようなエピソードはありません。

ちなみに先日の ANA 工場見学で、事前に地図を送っていたにも関わらず、バスの運転手さんが道に迷ってなかなか着かない、なんてこのくらいのことはトラブルに含めておりません。

ただし私の海外リゾート添乗中には、日本で大きな事件が起こる傾向にあります。代表的なところで言うと、グアム添乗中に2011年の東日本大震災、ハワイ添乗中に2016年の熊本地震が発生しております。

ちなみに明後日11/17から5日間、シンガポール添乗です。リゾートとは言い切れない場所ですので大丈夫だと思いますが、お気を付け下さい。

今JTBCが置かれている環境は私の入社時から大きく変化しています。旅行予約におけるインターネットのこれほどの台頭は誰も予想しておりませんでした。

この時代で店頭を持っている強みは十分理解しつつも、法人営業に軸足を移しつつあります。法人営業でも、企業の旅行だけではなく、イベント運営や自治体と連携した町興し等に入力しています。

熊谷では2019年のラグビーワールドカップという千載一遇のチャンスが控えておりますので、この分野でJTBCとしてしっかり存在意義を示せるように、鋭意営業中であります。

という大きな方向性のご紹介をさせていただきましたが、目の前に迫った悩みは大きく2つあります。1つは働き方改革、脱ブラック企業への取り組みです。私どもの仕事はとにかく確認が大事です。出発当日まで人数など各種変更のご依頼は絶えません。確認に終わりはないため、自分で終わりにするまで終わらないという仕事です。今までこの力技で乗り切ってきた先輩が、かなり苦しんでいます。ITなどのツールは進化しても、抜本的に時間短縮につながるツールは追いついていないのが現状です。とは言え、貴重な人財確保のためにも、社会的に取り組みが求められておりますので、意識改革から必死に取り組んでいる状況です。

2つ目はゆとり世代の部下への教育とマネジメントです。私はいわゆる氷河期世代でしたので、ブラック企業がどうこうなんて話題は一切なく、営業は気合と根性と教わってきました。数年前の営業課長はそれで良かったようですが、今そんなことを言う課長はすぐに外されます。自分がやってきたスタイルを伝えられないということが我々世代の悩みです。

とは言え私もそんなに長時間労働をしたい方ではありませんので、昔はこうだったということに禁句にしつつ、若手メンバーと日々挑戦しております。

最後になりましたが現在は妻と二人でさいたま新都心で暮らしております。いろいろありましたが結婚2年目です。熊谷までの通勤時間は約1時間です。

趣味は月並みですがゴルフです。100前後から全く成長しません。改めて自分でも「たまたま」の人生だなと思います。しかし周囲に恵まれ、たまたまに任せていい方向に来ていると思います。私がロータリークラブに入会できたのも、数ある支店からたまたま熊谷支店に異動してきたことがきっかけです。今回の「たまたま」も私の人生にとって大きなプラスになることを確信しております。

引き続き宜しくお願い申し上げます。

〈次回 12/13 のプログラム〉

年次総会 / 次年度役員・理事選出

ニコニコ BOX	本日	累計
11/15	¥9,000	¥381,000

質問コーナーに対する回答

清水 利夫 正 SAA

ニコニコ BOX について



インニエーションスピーチ

大沢 剛 会員



みなさんこんにちは。大沢剛です。

早いもので入会させていただいてから10か月が経ちました。

いつも優しく接していただき誠に有難うございます。

私の生まれは1976年です。モントリオールオリンピック、ロッキード事件などが注目された年です。神奈川県藤沢市で生まれましたが、育ちは旧川本町です。今思えばかなり田舎で育ちました。

小学校は少年サッカー、当時はキャプテン翼が大ブームでした。中学から高校まではバレーボール部でした。バスケットボール部に入りたくて体育館に行きましたが、男子バスケットボール部が無く、そこで練習していたバレー部に勧誘されたのがきっかけです。そこから6年間、高校時代はキャプテンも務めました。高校は熊谷西高校でした。

その後立教大学に進学しました。自宅から通学圏内でしたが、なんとか親を説得して憧れの都内一人暮らしにこぎ付けました。しかしながらこれもたまたま入った広告研究会の活動で夏は2カ月ほど海の家経営のため千葉県館山市で合宿生活、池袋にいるときは雀荘に入り浸りと都内1人暮らしライフはあまり満喫していませんでした。

その後かなり苦戦しましたがなんとか卒業し、2001年に株式会社ジェイティービーに入社しました。JTBCに入った理由も良く聞かれるのですが、実はすんなり卒業できないほど単位が残っておりましたので、周囲と同じタイミングで就職活動をしておりませんでした。しかし前期の試験で思いのほか単位が取れ、慌てて就職活動を実施したところ、たまたま3回に分けて採用をしていたJTBCの3回目の採用タイミングで内定しました。

JTBC入社後、配属されたのは浦和支店でした。そこで10年、大宮に異動して3年、ずっと法人営業の担当でした。その後天王洲のJTBCグループの本社で社内向け販売促進を担当した後、今年2017年2月に熊谷支店の営業課長を拝命し、現在に至ります。

中山さんの娘さんには大変お世話になっております。熊谷支店を代表する癒し系としてボロボロになって帰ってきた営業マンをやさしく包み込んでいただける貴重な存在です。

おかげさまで17年目となりますが、入社経緯でお話しした通